

第46回

サタデーセミナーのご案内

(一社) 日本ゴム協会 関西支部

本セミナーは、46年目になる歴史のある関西支部の研修事業です。基礎から応用までゴム技術やその周辺技術に関する講演会を通して、会員様へ先進的または高度な情報の提供を行います。R7年度より、講師の先生と直接お話することができる対面講演の良さを残しつつ、関西からは遠い会員の皆様にもご聴講できる利便性も考慮し、『ハイブリッド講演形式』を基本に新たにスタートすることとなりました(講師の御希望により対面のみになる場合があります)。第46回も魅力的な先生方にご講演をお引き受け頂くことができました。

浦山健治氏(京都大学)には、ゴムの多軸変形・き裂特性の精密解析について、澤田一彦氏(ヘイシンテクノベルク(株))には、ゴム成形用金型の設計・製作方法について、藤原広匡氏(化学物質評価研究機構)には、ゴムなど高分子材料への高圧水素ガスの影響について、西野孝氏(神戸大学)には、高分子材料の界面・表面の分析について、海野祐馬氏(住友ゴム工業(株))には、クロマトグラフィーや質量分析によるゴム・添加剤の分析について、鈴木宏昭氏(錦城護謨(株))には、企業におけるDX推進活動とインナーブランディングについて、それぞれ土曜日の午後半日を使ってじっくりとお話しをしていただきます。これだけ詳細な話を伺える機会は、他に類を見ません。また、講演終了後には同会場で講師を囲んでの質問・懇談会(懇談会は対面参加者のみです)を設定しております。下記ご参照の上、奮って参加申し込みくださいますようお願いいたします。

日時:令和7年4月,6月,8月,10月,12月,令和8年2月 偶数月第1土曜日 計6回

12時30分~16時00分頃(ハイブリッド講演) 講演終了後~17時00分(質疑及び対面懇談)

場所:DKビル(旧電子会館) 4階会議室(大阪市北区西天満6-8-7)

参加費:88,000円(年間資料費,消費税を含む)

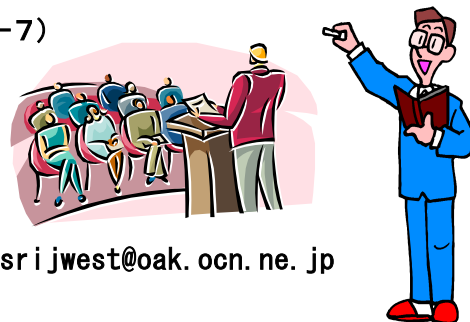
1社で毎回2名まで参加できます

(参加費を改定しました)

問合先:一般社団法人 日本ゴム協会 関西支部 事務局

〒577-0011 東大阪市荒本北1-5-55

TEL:06-6744-2150, FAX:06-6744-2052, E-mail:srijwest@oak.ocn.ne.jp



【テーマ, 講師, 講述要旨】

R7.4.5 「ゴムの多軸変形・き裂特性の精密解析」

京都大学 大学院工学研究科 教授 博士(工学) 浦山 健治 氏

単純な引張や圧縮変形はゴムの可能な変形の一部にすぎず、得られる力学特性の情報は限定的である。我々は、多軸変形やき裂周辺などの不均一変形下の力学挙動、およびその変形に誘起された種々の物性の変化との相関解析に取り組んでいる。本講演では、1)二軸変形を用いたマリンス効果とひずみの交叉効果の特性化、2)高速進展、ひずみ誘起結晶化、マリンス効果を伴うき裂の解析、3)液晶エラストマーなどの機能性ゴムの複雑変形下での特性解析などの取り組みを紹介する。

R7.6.7 「ゴム成形用金型の設計と製作」

ヘイシンテクノベルク(株) 生産技術開発グループ グループ長 澤田 一彦 氏

ゴム成形用金型は成形する部品により、または企業によっても様々な形状をとっており、独自のノウハウを活かして成形されている。プラスチック製品に比べるとまだまだ手作業による成形が多く、金型についてもハンドリング重視で設計・製作されている場合が多い。今後はゴム成形においても高精度、高生産性が求められることが考えられ、金型に要求される精度や機能も重要になってくる。ゴム成形用金型の設計・製作方法について説明し、ゴム製品の品質にも大きく影響を及ぼす金型汚染対策についても説明する。

R7.8.2 「高圧水素適合性高分子材料の評価」

(一財) 化学物質評価研究機構【CERI】 高分子技術部 主管研究員 博士(工学) 藤原 広匡 氏

カーボンニュートラル社会の実現に向け、『水素』の利用はますます増加しており、その利用に当たっては、安全性と安定供給の確保が不可欠である。水素の貯蔵、運搬、供給などの各段階においてゴムや樹脂といった高分子材料が幅広く用いられる。本講では、水素をキーワードに、これら高分子材料に対する水素、特に高圧水素ガスの影響について、独自の評価装置や評価手法を交えた試験結果を報告し、水素利用の安全性に貢献するための取り組みを紹介する。

R7.10.4 「表面・界面と接着・剥離の狭間にて」

神戸大学 大学院工学研究科 教授 工学博士 西野 孝 氏

高分子材料のバルクと比較して、表面・界面は構造や物性を大きく異にすることが従前から提唱されてきたが、最近では、その様相が実験的なエビデンスを持って明らかにされつつある。本講では、さまざまな観点からの解析手法を活用した、これまでの進歩の様子を平易に解説する。それと共に、得られた知見を活かした展開、接着や剥離に関連する未解決課題に対する今後に向けての具体的な取り組みを紹介したい。

R7.12.6 「クロマトグラフィーや質量分析法を用いたゴム材料・添加剤の分析」

住友ゴム工業(株) 研究開発本部 先進技術・イノベーション研究センター 海野 祐馬 氏

ゴム配合で用いられる高分子材料や添加剤の化学構造を把握することは、その特性や劣化状態を理解するために重要である。その分析手法としては、NMR、FT-IR、GC、LC、MS等があるが特にGC-MSやLC-MSは、分離分析と化学組成や構造解析に優れ、ゴム製品のような複合材料の分析に適している。本報告では、これらの手法を用いたゴム材料や添加剤の分析事例として、硫黄架橋構造やパラフィンワックス、シランカップリング剤の解析の事例を紹介する。

R8.2.7 「ゴム中小企業におけるDX推進活動とインナーブランディング」(対面講演のみ)

錦城護謨(株) 工業品事業本部 品質管理部 兼 生産部 部長 鈴木 宏昭 氏

今後、労働人口の減少はさらに顕著になり、中小企業は人材確保が非常に難しくなっている。そのため今働いている従業員の定着が大きな課題となっている。このような背景の中で、従業員が少しでも楽に作業ができるようにするために錦城護謨が行ってきたDX推進事例と、インナーブランディングを目的に行っているBtoC商品『KINJO JAPAN』の開発経緯について紹介する。

----- キリトリ -----

“第46回 サタデーセミナー”参加申込書(コピー可) E-mail: srijwest@oak.ocn.ne.jp

(直接このファイルに記入して頂くことも可能です) Fax: 06-6744-2052

団体名			
このセミナーに関する担当者(役職・氏名)	TEL		
	メール		
所在地	〒		
セミナー参加予定者(交替可)	氏名		役職名
	氏名		役職名

個人情報は、セミナーのご案内以外の目的には使用しません。
年6回のご案内をメールで送信しますので、アドレス記入をお願いします。
参加申込書到着後、請求書をお送り致します。
インボイス制度: 適格請求書発行事業者登録番号:T6010405010612